

## 第3回金沢競馬経営評価委員会議事(概要)

1 開催日 平成22年11月4日(木)

### 2 審議事項

(1) 今後の収支予測について説明

金沢競馬の今後の収支予測を、現状で推移した場合、現状から特殊要因を除いた場合、収支均衡を目指した場合の3パターンに分けそれぞれ内容説明

(2) 今後の施設改修計画について説明(主な項目)

①自動発払機など競馬開催機器、②スタンド棟の空調・電気設備、③馬場改修工事など場内設備及びスタンド改修に必要な経費、④敷地内の給排水設備、それぞれの更新計画について説明

(3) 全国地方競馬の経営改善計画策定状況及び歳出状況について説明(主な項目)

- ① 経営改善に係る計画などに記載されている、存廃の考え方、収入拡大策、経営合理化策など、取り組みの現状
- ② 競馬事業支出のうち、賞典奨励費や業務委託料など他主催者との経費構造を比較

### 3 主な発言の概要

- ① 収支予測の3パターン、どれを見ても今後の収入増が厳しいことが分かる。一方、歳出に関しては、他の競馬場に比べて割高な経費があるとのことなので、削減に向けて検討してほしい。
- ② 競馬が自治体の財源に資するという条件のもとで運営が許されていることから、市民感覚として存続のための税金投入は理解されないのではないか。
- ③ JRAや南関東の電話投票システムによる発売や金沢競馬場でJRA馬券の発売が検討されている。その他振興策も実施し下落幅の緩和に努める必要がある。
- ④ 施設改修計画の項目は、金沢競馬を維持するうえで最低限必要な改修となっていると思うが、ファンの安全確保を最優先して実施しなければならない。
- ⑤ 施設改修計画の項目の中で、施設の保守点検などで見つかった軽微な故障などは、簡易修理を実施し改修時期の先送りをすべきである。